

「青森県の石」紹介

弘大資料館で企画展



世界唯一の現物化石も

弘前大学資料館で企画展「『石』の世界」が7月12日まで開かれている。日本地質学会が各道府県の岩石、鉱石、化石について選定した「県の石」のうち、同展では世界で唯一の「アオモリムカシクシラウオの化石」の現物など「青森県の石」を展示、紹介している。

(成田真由美)

日本地質学会は今つのが特徴。「菱マン年、創立125周年を「アオモリムカシクシラウオの化石」の三つ。「錦石」は津軽地帯を中心に産出され、磨くと美しい光沢を放

青森県の石は「錦石」「菱マンガン鉱」「アオモリムカシクシラウオの化石」の三つ。「錦石」は津軽地帯を中心に産出され、磨くと美しい光沢を放

企画展「『石』の世界」で展示する石について解説する根本講師

森市の堤川上流で発見された約1500万年の非常に珍しい機会を観察することができる。世界で唯一の化石。普段は県立郷土館の収蔵庫に収められている。同展ではこれらの「県の石」について、現物とともに、定義や特徴についてもパネルで解説している。

地質学が専門の同大理工学研究科の根本直樹講師は「三つそろつ

た形で見ることができ、非常に珍しい機会とPRしている。

開館時間は午前10時～午後4時。日曜・祝日休館。入館無料。

※この記事は陸奥新報社提供です。

この画像は、当該ページに限って陸奥新報の記事利用を許諾したものです。

転載ならびにこのページへのリンクは固くお断りします。

[問い合わせ先]

弘前大学資料館 jm3432@hirosaki-u.ac.jp